

香港のペット関連市場について

香港駐在員事務所

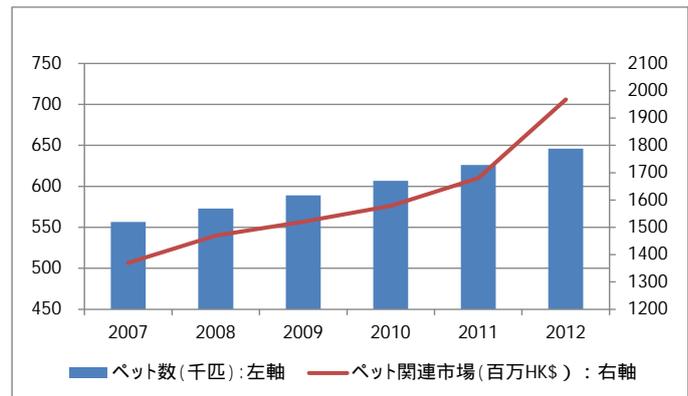
秘書 Hau Siu Yun, June

香港のペット関連市場は外国企業にとっても大変魅力的な市場であると言えます。その理由は、香港で飼われているペット数が毎年増加していること、外国製のペット向け関連商品やサービスが比較的受け入れられ易い環境にあること、中国本土市場へのゲートウェイとしても魅力的であることなどが挙げられます。

香港は東京都の約半分の面積に 700 万人以上の人々が暮らす世界で最も人口密度が高い地域の一つです。ごく一部の富裕層を除き、大部分の人はマンションなどの集合住宅に居住しており、居住面積が 50 m²以下の住宅も少なくありません。こうした居住環境であるため、ペットを飼育している家庭は少ないと思われがちですが、実際には室内で金魚や熱帯魚のほか、ハムスター、小型犬、猫などがペットとして飼われており、その数も年々増加しています。

イギリスの大手調査会社 Euromonitor が発表したデータによると、香港ではおよそ 64 万 5 千匹(2012 年)のペットが飼われており、その数は 5 年前と比べて約 16%増加しています。また、ペット関連市場における売上についても増加傾向にあり、2012 年の売上規模は 5 年前に比べ 1.43 倍の 19.7 億 HK\$(約 256 億円)に達し、2017 年には 24.9 億 HK\$(約 324 億円)まで拡大する見通しとなっています。

香港のペット数及びペット関連市場の推移



(出所:Euromonitor)

次に香港のペット関連市場における特徴についてですが、外国製の商品やサービスなどが比較的人気が高いと言えます。特にペットフードについては、Mars、Nestle、Hill's、P&G といった有名ブランド数社の商品で市場全体の約 8 割を占めています。これは、香港では自分のペットに適した商品やサービスを探すにあたり、「Whole Dog Journal」といった米国系のペットケア月刊誌などを参考にしていることもあり、結果的に欧米系のものが増えているようです。

また、ペット向けサービスでは、ペット用保険という新しいサービスも登場しています。ペットが病気や怪我をした際に動物病院へ連れて行くと、診断費用だけでおよそ 250 HK\$(約 3,250 円)程度かかり、薬代などを含めると飼主の医療費よりも高額となることがあります。このような状況を背景に、ペット用の医療・死亡・第三者損害保険などの保険商品も販売されており、イギリスの大手保険会社等も同市場に参入しています。

最後に香港の中国本土市場へのゲートウェイとしてのペット関連のビジネスチャンスについてですが、香港には毎年中国本土から 3,500 万人ほどの人が訪れています。その中には香港でペットフードを買い求める人も少なくありません。これは、香港で販売されている外国産ペットフードが中国本土と比べ比較的安価であるという理由のほか、模倣品(偽物)が少ないということも背景としてあるようです。こういった面からも香港は中国本土市場へのゲートウェイとしての魅力を持っていると言えます。

以上、今回のレポートでは香港のペット関連市場についてお伝えいたしましたが、ペット先進国である日本にとって、香港はペット関連ビジネスの潜在的な魅力ある市場ではないでしょうか。

以上